

第5章

魅力・元気・文化を誇るまち

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
522	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市内の商工業振興において重要な役割を担う団体として引き続き補助を行う必要がある。なお、補助事業のあり方については、市と共同で実施し市が負担金を交付する事業と併せて方向性を検討する必要がある。	R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう					
			重要	自治事務		13,000千円	13,000千円							①経営改善普及事業の巡回窓口相談件数 ②経営改善普及事業の講習会等の開催による指導件数 ③個人・法人・団体の年度末会員数		商工会議所一般会計の事業費(千円)	事業計画に基づき事業が実施されているかを示す。目標は商工会議所一般会計の予算額、実績は決算額。			
			根拠法令	所沢商工会議所補助金交付要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)											13,000千円	13,000千円	
			事業の目的及び具体的な内容	地域経済の振興と発展を目的に、所沢商工会議所に対して補助金の交付を行う。(団体における実施事業) ○所沢商工会議所一般事業(部会活動、街おこし事業、情報提供事業、会員組織事業、検定事業等) ○中小企業相談所事業(中小企業経営指導、事業融資交付、講習会開催、人材育成事業等)		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.05人		0人	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間	S25 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							400千円		0人	実績	204,052千円	152,346千円	予算額に対する決算額であるため。会員支援のための諸事業は概ね計画どおり実施された。
						0.05人	0人							①2,924件 ②1,463件 ③3,134者		206,420千円	144,268千円			
						404千円	0人									R6目標	207,598千円			
522	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	中小企業者が行う資金調達に係る支援策として一定の効果はあるが、コロナ対策として設けられた有利な融資制度を利用した事業者がほとんどであったため、市の制度融資利用者が少なかった。	R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう					
			重要	自治事務		5,000千円	1,692千円							①融資制度新規実行額 ②借入事業者、貸付金融機関への利子補給額		融資制度新規利用件数	年度内に市の融資制度が実行された件数を設定することで、市融資制度を必要としている事業者の数を示す。			
			根拠法令	所沢市中小企業融資規則、所沢市中小企業設備投資融資利子補給金交付要綱、外		R5予算現額	R5決算額(見込み)											5,000千円	1,673千円	
			事業の目的及び具体的な内容	中小企業者の事業振興を図り、経営の合理化・安定化並びに企業の体質改善に寄与することを目的に、中小企業者に低利率で融資を行う。市独自の融資制度は「中小企業支援資金」「特別小口資金」「災害復興資金」「新規創業支援資金」の4種類。市融資制度利用者、金融機関、県の設備投資融資の利用者に対し利子補給を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.26人		0.15人	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間	S48 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							2,081千円		0.15人	実績	10件	2件	新型コロナウイルス感染症対策として、市の融資メニューより有利な利率で借りられる融資メニューが国県等により用意されていたことから、市制度融資の利用が少なかったと思われる。
						0.22人	0.15人							①14,920,000円 ②1,672,700円		5件	3件			
						1,778千円	0.15人									R6目標	5件			
523	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	補助内容の見直しにより、参加農家数を増やし、目標を達成することができた。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう					
			最優先	自治事務		1,200千円	1,076千円							①フェロモン剤購入農家数 ②緑肥購入農家数 ③生分解性マルチフィルム購入農家数		事業参加農家数	環境への負荷の少ない農業資材の利用を増やすことを当該事業の目的としているため、事業の参加農家数を指標とする。目標値としては、前年度の実績を基本後、維持・向上を目指す数値を設定する。			
			根拠法令	所沢市環境にやさしい農業推進事業費補助金交付要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)											5,162千円	3,411千円	
			事業の目的及び具体的な内容	フェロモントラップ、生分解性マルチフィルム、緑肥等の利用に対して、事業費の1/2以内を限度として補助をする。地球環境への負荷を軽減するとともに、地域住民との共存を図り、安心して安全な農産物の生産を増やしていく。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.15人		0人	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間	H14 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							1,200千円		0人	実績	220戸	210戸	目標達成済
						0.55人	0人							①76戸 ②69戸 ③119戸		220戸	264戸			
						4,445千円	0人									R6目標	270戸			

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠					
523	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標を達成し、目的とする農地の流動化は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層農地の流動化に努める。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに
			優先	自治事務		0千円	0千円								
			根拠法令	所沢市農地サポート事業実施要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②利用集積農地面積	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	年々進む高齢化や後継者不足等により、農業従事者が減少していくなか、遊休化または遊休化するおそれのある農地の農業上の利用を確保するため、農業経営規模の縮小意向の農業者と拡大意向の農業者を取り次ぐことにより、農地の有効活用と流動化を図る。 【内容】 ・農業経営規模の縮小意向の農業者から売買や貸借を希望する農地情報を把握し、拡大意向の農業者に情報提供を実施する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								
			期間	H22 ~		0.11人	0人	①21件	20,000㎡	66,846㎡	目標達成済				
						880千円	0人								
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②66,846㎡	R6目標						
						0.15人	0人		20,000㎡						
		1,212千円	0人												
523	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする農地基本台帳の情報整備は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、農地情報を適正に管理する。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに
			優先	法定受託事務		2,925千円	1,627千円								
			根拠法令	農業委員会等に関する法律		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②入力筆数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	一筆ごとの農地情報を整理し、電子化した農地基本台帳の管理運用を行う。 【内容】 ・農地基本台帳及び農地地図情報システムを導入し、市内の農地情報の管理を行う。 ・農地の権利移動や農地転用等の情報を随時入力し、最新の状態に更新する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								
			期間	H27 ~		0.48人	0人	①18,412件	100.0%	100.0%	目標達成済				
						3,841千円	0人								
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②18,412件	R6目標						
						0.53人	0人		100.0%						
		4,283千円	0人												
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	短編映画を活用した航空発祥の地のPRとフランス航空教育団から始まるフランスとの交流を深めるため、在日フランス商工会議所副会頭などを歴任されたクリスチャン・ボラック氏を講師に迎えた、短編映画上映会・講演会を実施することができた。視聴者数は目標人数にわずかに届かなかったものの、おおむね目的を達成できたものと考えられる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			-	自治事務		15,000千円	14,996千円								
			根拠法令	-		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②上映会開催によるPR(上映会参加者)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	本事業は、日本で初めてできた飛行場跡地に整備されている「所沢航空記念公園」を観光資源として、さらに魅力を高めるため、「短編映画の製作と発信」等による磨き上げを行うことで、アフターコロナを見据えた市内のマイクロツーリズムを推進するとともに、フランス航空教育団を通じた日仏交流の更なる推進を図るものである。 取組としては次のとおりである。 ・フランス航空教育団など、所沢航空記念公園にまつわる歴史を伝える短編映画の製作 ・上記映画による「航空発祥の地 所沢」を子供たちを中心に広く発信		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								
			期間	R4 ~		0.66人	0.25人	①1回開催	1,000人	942人	集計できなかった上映会などもあったため。次年度以降貸出の際に集計のお願いや、小学校での上映状況の把握を行っていく。				
						5,281千円	0.15人								
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②942名	R6目標						
						0.39人	0.15人		1,000人						
		3,152千円	0.15人												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠										
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①来館者数 ②駐車料金収入 ③特産品販売総売上	管理委託料に対する収入割合	管理委託料に見合った販売収入及び自主事業収入・使用料等が収入として入っているか。	R5年度に改善した点	A	特産品等販売売上、駐車料金収入等昨年度を下回る収入となったが、目標を達成することができた。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も					
			最優先	自治事務		119,161千円	111,797千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	地方自治法、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の推進に関する法律、所沢市観光情報・物産館条例		117,749千円	112,553千円													
			期間	H29 ~		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費									R4その他職員従事割合	実績	100.0%	166.5%	R5目標値が未達成の理由・分析
						令和3年5月29日に開設した所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点として運営し、効果的に活用していく。具体的な取組み内容としては、指定管理者である所沢まちづくり共同事業体とともに、適正かつ円滑に所沢市観光情報・物産館の管理運営及び活用を行っていく。	0.82人									0人	R5目標	R5実績		
							6,562千円									0.08人			150.0%	
			1.32人	0.08人		①約17万人(推計値)	R6目標									R6実績				
			10,667千円	0.08人		②12,801,305円 ③82,812,324円	200.0%													
10,667千円	0.08人	①約17万人(推計値) ②12,801,305円 ③82,812,324円																		
10,667千円	0.08人	①約17万人(推計値) ②12,801,305円 ③82,812,324円																		
10,667千円	0.08人	①約17万人(推計値) ②12,801,305円 ③82,812,324円																		
10,667千円	0.08人	①約17万人(推計値) ②12,801,305円 ③82,812,324円																		
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①寿町駐車場使用料収入 ②寿町駐車場実績台数 ③元町地下駐車場実績台数	寿町駐車場の管理委託料に対する使用料収入の割合	管理委託料に見合った使用料が収入として入っているか。	R5年度に改善した点	A	目標値を若干下回ったが、総合的に勘案すると市営駐車場としての事業の目的を達成できたと考えられる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
			重要	自治事務		66,270千円	60,848千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	所沢市寿町駐車場条例、所沢市元町地下駐車場条例		65,186千円	61,369千円													
			期間	S44 ~		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費									R4その他職員従事割合	実績	112.8%	117.9%	R5目標値が未達成の理由・分析
						地元商店街への買い物客の利便性を高め、商店街振興を図ることを目的とする。寿町駐車場及び元町地下駐車場の2ヶ所を対象とする。	0.68人									0.10人	R5目標	R5実績		
							5,441千円									0.10人			112.8%	
			0.38人	0.08人		①8,373,660円 ②53,629台 ③80,681台	R6目標									R6実績				
			3,071千円	0.08人		①8,373,660円 ②53,629台 ③80,681台	100.0%													
3,071千円	0.08人	①8,373,660円 ②53,629台 ③80,681台																		
3,071千円	0.08人	①8,373,660円 ②53,629台 ③80,681台																		
3,071千円	0.08人	①8,373,660円 ②53,629台 ③80,681台																		
3,071千円	0.08人	①8,373,660円 ②53,629台 ③80,681台																		
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①自主事業開催回数 ②貸しスペース使用料収入	来場者数及び参加者数	新型コロナウイルスの影響を加味せず設定した令和2年度の目標値とする。	R5年度に改善した点	B	来場者数及びイベントへの参加者数が目標値を下回ったため。一方で、各種イベントや展示の実施により事業の目的は達成できたと考えられる。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを					
			重要	自治事務		6,250千円	6,250千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	所沢市中心市街地活性化拠点施設運営要綱		6,250千円	6,250千円													
			期間	H16 ~		事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費									R4その他職員従事割合	実績	23,450人	25,360人	R5目標値が未達成の理由・分析
						商業の振興や来街者の増加を図り、中心市街地全体の活性化を目指す。当施設は、市民の交流の場・情報発信の拠点として各種の展示のほか、中心市街地でのイベントの開催も行っている。【中心市街地活性化拠点施設運営事業として、施設の賃借料、光熱水費を所沢商工会議所と分担(所沢商工会議所負担分：1,250千円)】	0.48人									0.05人	R5目標	R5実績		
							3,841千円									0.05人			46,900人	
			0.29人	0.05人		①7回 ②120,000円	R6目標									R6実績				
			2,343千円	0.05人		①7回 ②120,000円	46,900人													
2,343千円	0.05人	①7回 ②120,000円																		
2,343千円	0.05人	①7回 ②120,000円																		
2,343千円	0.05人	①7回 ②120,000円																		
2,343千円	0.05人	①7回 ②120,000円																		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	縮小開催した令和4年度より来場者数が増え、例年とほぼ同規模のまつりを開催できたため。「安心安全で持続可能なまつり」を重点目的とし、事故なく開催することができた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
			重要	自治事務		4,000千円	4,000千円	①人出 ②パレード参加団体	人出	とところざわまつりに訪れる人出の実績直近で全面開催したH30の実績とした。			R5年度に改善した点		11 住み続けられるまちづくりを							
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)						4,000千円			4,000千円	R5目標値が未達成の理由・分析					
			事業の目的及び具体的な内容			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.98人	0.55人	実績			220,000人		180,000人	一部イベントの中止や、開催時間がコロナ禍以前より1時間短縮していることによるものと考えられる。						
			期間			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	7,842千円	0.25人	①200,000人			220,000人		200,000人							
			S63 ~			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	1.02人	0.25人	②0団体			R6目標									
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	8,243千円	0.25人				220,000人									
			531	産業経済部		商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額			R4決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	所沢市商店街連合会は、市内の多くの商店街が加入し、商店街の振興にとって重要な組織である。商店街振興を図るため、引き続き同会を支援していく。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
							重要	自治事務		210千円			210千円		①会員数 ②所沢商店街連合会総事業費	商店街連合会加盟商店街の会員数	市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することを目的としていることから、商店街連合会加盟商店街の会員数としている。目標値は前年実績。			R5年度に改善した点		国・県が実施する事業について、メールにより迅速に情報提供を行った。
							根拠法令			R5予算現額			R5決算額(見込み)							210千円		
事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		0.31人	0.01人		実績	1,190事業者	1,190事業者	目標達成済									
期間		R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		2,481千円	0.01人		①1,190事業者	1,190事業者	1,190事業者										
S59 ~		R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		0.11人	0.01人		②12,426,751円	R6目標											
		R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		889千円	0.01人			1,190事業者											
531	産業経済部	商業観光課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	商店街の会員数は後継者の不足に加え、商店街エリアに新規出店した店が商店街に加入しないことなどにより減少傾向にある。補助金交付業務については効率的な事務運営を行っており、今後も同様の効果をあげていきたい。	R5年度に改善した点			11 住み続けられるまちづくりを		
					優先		自治事務			33,899千円	21,190千円	①補助事業件数 ②補助金交付額	商店街加盟店舗数	令和元年度以降は、商店街加盟店舗数を評価指標とし、既存店舗の支援及び空き店舗の解消を進める。			R5年度に改善した点					新型コロナウイルスを経て、商店街運営の在り方も変化中、補助金の適切な申請をするよう周知をした。
					根拠法令					R5予算現額	R5決算額(見込み)						30,000千円					
			事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.98人		0.30人	実績	1327店舗(加盟店舗数)	1325店舗(加盟店舗数)	後継者不足や商店街未加入者の増加の影響等により各商店街の会員数が減少しているため。									
			期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	7,842千円		0.30人	①113件	1325店舗(加盟店舗数)	1318店舗(加盟店舗数)										
			S57 ~		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.69人		0.30人	②19,801,000円	R6目標											
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	5,576千円		0.30人		1318店舗(加盟店舗数)											

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠								
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①本補助金活用店舗数	本補助金活用店舗数	予算額2,400千円(1事業限度1200千円×2店舗)	A	当該事業は年々周知されており、相談件数も増加傾向にある。引き続き事業を実施していきたい。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も				
			重要	自治事務		2,400千円	1,863千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	所沢市空き店舗活用・新規創業支援出店補助金交付要綱		2,400千円	2,200千円											
			事業の目的及び具体的な内容	新規創業者を支援して商業や商店街等の活性化を図るため、空き店舗の活用事業を始める者に、事業開始に必要な初期経費について補助する。市内商店街の空き店舗を利用し、にぎわいを創出する出店者を募集し、補助金を交付する。 ・補助金額 経費の1/3以内(限度額120万円)		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		2店舗	2店舗	R5目標	R5実績
			0.36人	0.01人														
			期間	H24 ~		2,881千円	0人						①2店舗		2店舗	2店舗	R6目標	2店舗
			0.37人	0人		2,990千円												
			評価者	商業観光課長 古田 晃一		どのよう貢献したか							商店街で新規創業する人が継続して現れるよう、ニーズに応じた事業内容を検討する。		本事業を通して、空き店舗を解消し商店街の活性化に貢献した。			
商業観光課長 古田 晃一	どのよう貢献したか		商店街で新規創業する人が継続して現れるよう、ニーズに応じた事業内容を検討する。	本事業を通して、空き店舗を解消し商店街の活性化に貢献した。														
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①トイレ清掃回数(狭山湖・トトロの森観光トイレ) ②桜並木ライトアップ日数 ③狭山湖利用駐車場利用台数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直し。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。	A	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取組みを積極的に行った。引き続き多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるよう関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力向上に努めていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		10,331千円	9,980千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	観光立国推進基本法		10,200千円	9,986千円											
			事業の目的及び具体的な内容	市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ・狭山湖駐車場修繕 ・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜並木ライトアップ		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		7,200,000人	7,445,732人	R5目標	R5実績
			0.73人	0人														
			期間	H7 ~		5,841千円	0人						①409回 ②14日 ③61,219台		7,500,000人	集計中	R6目標	7,800,000人
			0.44人	0人		3,556千円												
			評価者	商業観光課長 古田 晃一		どのよう貢献したか							平成29年度に設置したトトロの森観光トイレ(仮設トイレ)の交換が必要である。		各観光資源の魅力向上に努めた。			
商業観光課長 古田 晃一	どのよう貢献したか		平成29年度に設置したトトロの森観光トイレ(仮設トイレ)の交換が必要である。	各観光資源の魅力向上に努めた。														
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①共同事業への参加回数	狭山丘陵関連プロモーション件数	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加や情報発信等の件数とした。	C	イベント参加回数は減少しているが、引き続き狭山丘陵の魅了発信に努める。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			重要	自治事務		90千円	0千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	観光立国推進基本法		60千円	0千円											
			事業の目的及び具体的な内容	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		6件	5件	R5目標	R5実績
			0.16人	0人														
			期間	H30 ~		1,280千円	0人						①1回		6件	2件	R6目標	6件
			0.24人	0人		1,939千円												
			評価者	商業観光課長 古田 晃一		どのよう貢献したか							狭山丘陵観光関連団体でのイベント実施が縮小しているため、未達成となっている。		狭山丘陵全体の魅力発信が県をまたいで実施された場合には、市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。			
商業観光課長 古田 晃一	どのよう貢献したか		狭山丘陵観光関連団体でのイベント実施が縮小しているため、未達成となっている。	狭山丘陵全体の魅力発信が県をまたいで実施された場合には、市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠							
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目録件数には達したが、満額には達しなかったため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			最優先	自治事務	0千円	0千円	①補助事業件数 ②補助金交付金額	本補助金活用件数	予算額2,000千円 (1事業限度額200千円×10件)	R5目標値が未達成の理由・分析			補助金審査委員会の指摘を受けて補助に対して回数の上限や条件を設定することし要綱を改訂した。				
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	1,600千円									1,513千円		
			にぎわいitこ創出支援事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.00人	0人	実績	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
				本事業は地域の特性を生かした人を中心にしたにぎわい拠点の創出、活性化に向けた事業を行うものに対し、事業費の一部を補助するものである。 市内のさまざまな観光拠点を繋ぐ公共交通等の利用を推進することで、マイカー移動では生まれなかった街中から市内全域に広がる新たな人流を作り、そこから発生する出会いやにぎわいによってまちの魅力向上を図る。	0千円	0人	-	-									
				期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.36人	0人		①8件					8件		
			R5 ~			2,909千円	0人	②1,513,000円	10件								更なるにぎわい拠点の充実のため広くPR活動を行っていく。
										評価者	商業観光課長 古田 晃一						
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	No.4東川さくらおさんぽコース(わき道コースを含む)に道標を設置し、市内を歩きやすく、歩きたくするような環境を整備することができた。また、狭山ヶ丘駅西口の観光案内板を多言語表示にすることで、インバウンド対応を行った。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			最優先	自治事務	0千円	0千円	①道標設置コース数 ②道標設置・更新数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。	R5目標値が未達成の理由・分析			道標にQRコードを表示し、スマートフォンで読み取ることにより、市HPのおさんぽコースや観光スポット紹介ページとリンクさせ、歩きながら観光情報を得られるようにした。				
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	7,800千円									7,100千円		
			「まち」×「みどり」のおさんぽコース道標等整備事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.00人	0人	実績	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
				市内外からの観光客の増加を図るため、市内の観光スポット等の場所や経路を示す道標や観光案内板等を整備する。 市内を歩きやすく、また、歩きたくするように、「まち」×「みどり」のおさんぽコース上の道標やコース全体を示す観光案内板等を中心とした整備を行い、一層の充実を図る。	0千円	0人	7,200,000人	7,445,732人									
				期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.73人	0.08人		①1コース(本コース、わき道コース) ②30基(本コース16基、わき道コース14基)					7,500,000人		
			R5 ~			5,899千円				7,800,000人							どのように貢献したか
										評価者	商業観光課長 古田 晃一						
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当事業を実施することで、利用者の安全確保及び利便性向上に寄与する。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			優先	自治事務	0千円	0千円	①設計委託料予算額 ②設計委託料決算額	車椅子利用者用車室及び優先車室の設置	障害のある方や要介護高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方や移動の際に配慮が必要な方のための車室を確保し、利用者の利便性を確保するため。	R5目標値が未達成の理由・分析			利用者アンケートにより、「駐車スペースが狭く利用しづらい」という要望が多く寄せられているため、駐車スペースの幅員を広げる設計とした。				
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	5,500千円									5,170千円		
			所沢市寿町駐車場整備事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.00人	0人	実績	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
				所沢市寿町駐車場の東川護岸等の老朽化が著しいため、整備を実施するもの。	0千円	0人	-	-									
				令和5年度：設計 令和6年度：着工(湧水期の11月以降を予定) 令和7年度：竣工(5月頃を予定)	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.29人	0.01人		①5,500,000円 ②5,170,000円					0車室		
			R5 ~			2,343千円				2車室							どのように貢献したか
										評価者	商業観光課長 古田 晃一						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)										
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目										
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠															
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①総会・幹事会開催回数 ②大学等からの視察受入人数 ③(市・実践農業者共催)落ち葉掃きイベントへの参加者数	指標名	武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産への認定に向けた進捗	武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産推進協議会は、農業遺産への登録を通じて、伝統的農法を次世代へ継承していくとともに広く発信する取り組みを進めていくものであるため、世界農業遺産の認定に向けた進捗状況を目指す。	S	認定機関による現地調査(R5.6月)に適切に対応し、目標である世界農業遺産の認定を達成することができた。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を										
			重要	自治事務		100千円	100千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			根拠法令	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会規約		200千円	200千円									R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	世界農業遺産の認定	世界農業遺産認定申請に係る対応	世界農業遺産の認定	R5実績	実践農業者が取組を続けていけるように、引き続き協議会を中心として保全の方策を検討していく。	環境にやさしい農法により、周辺環境への負担を低減。
			事業の目的及び具体的な内容	「農業遺産」への認定を通じて、将来に受け継がれるべき伝統的な農業システムとしての武蔵野の落ち葉堆肥農法を広く発信することを目指すとともに、平地林の育成と落ち葉堆肥を利用した伝統的農法の継続を推進するものである。		0.18人	0人									実績	世界農業遺産の認定	世界農業遺産認定申請に係る対応	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			期間	H29 ~		1,440千円	0人									①12回	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									②376名	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						0.49人	0人									③117名	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
						3,960千円	0人										農法の継続推進・周知							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
																								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
																								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①とことこ市開催回数 ②とことこ市売上	指標名	所沢農産物の直売所への出荷割合	地元の農産物がどれだけ所沢で消費されているかを測るため、市場に流通する農産物ではなく、地元の直売所または、スーパーなどへの出荷率を指標とした。	S	とことこ市の開催支援、団体による農産物販売会の支援、地産地消レシビや直売所ガイドマップ等の作成を行うとともに、各種イベント等で地産地消レシビや直売所ガイドマップを配布するほか、婚姻届け及びパートナーシップファミリー制度の届出者に1000円分の農産物引換券を配布し、所沢産農産物のPRを図った。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう										
			優先	自治事務		2,104千円	1,716千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			根拠法令			4,673千円	4,314千円									R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			事業の目的及び具体的な内容	新鮮でおいしい所沢農畜産物のPRを図り、地域で消費することにより、消費者の食の安心・安全へのニーズに応えるとともに、生産者の生産意欲の拡大を図る。所沢農産物の学校給食への導入及び品目拡大、市民へのPR活動や生産者による直売会の開催、農産物直売所ガイドマップの作成等を実施することで、地産地消の推進を図る。		0.93人	0人									実績	60.0%	65.0%	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			期間	H15 ~		7,442千円	0人									①25回	60.0%	67.7%	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.77人	0人									②2,110,420円	60.0%		世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						6,222千円	0人										60.0%		世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①貸出区画数 ②体験農場利用料	指標名	講習会の参加人数	体験農場の利用者を対象に、作物の作付や防虫など技術的な知識を習得するため、年度内に2回(春・夏)研修会を実施している。利用者の技術と意欲の向上及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。	S	体験農場講習会において、播種の時期となる春と夏に複数日・複数会場で開催することにより、多くの方に参加いただき、必要な技術等を周知することができた。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに										
			重要	自治事務		2,683千円	1,832千円									R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			根拠法令	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程		3,768千円	3,491千円									R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			事業の目的及び具体的な内容	市内10箇所の体験農場で市民が農作業を体験することにより、農業への理解を深め、「農のあるまちづくり」を推進することを目的とする。また、利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深めるため、講習会を実施する。		0.58人	0人									実績	30名	99名	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			期間	S59 ~		4,641千円	0人									①503区画	30名	104名	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.73人	0人									②1,746,675円	50名		世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						5,899千円	0人										50名		世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	世界農業遺産の認定	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①農業祭イベントの開催 ②農業祭実行委員会開催回数 ③共進会、品評会の実施	農業祭での売上実績	事業の主たる目的が生産者と住民とのふれあい機会の創出による所沢農産物の地産地消の推進及びブランド化であることから、生産者と住民の接点となるイベント時の直接販売結果である売上実績を指標とする。	S	天候にも恵まれ、売り上げ実績を達成できた。特に、2日目の早い時間帯で準備していた商品を売り切る団体もあり、全体を通して売れ行きが好調であった。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と技術革新の基盤を作ろう 15 陸の豊かさを守ろう					
			重要	自治事務		500千円	500千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令			500千円	500千円						R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	目標達成済	
			事業の目的及び具体的な内容			0.48人	0人						R6目標		R6実績				
			期間	販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭開催の支援を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。		3,841千円	0人						①10/28.29に開催 ②3回開催		4,500千円	4,546千円			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						③4団体で実施(植木生産組合、園芸協会、茶業協会、農業後継者協議会)		4,500千円	5,829千円			
			553 ~			0.40人	0人								5,000千円				
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験参加者	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験参加者	市内の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とした。	S	豊島区メトロポリタンプラザビルでの新茶販売会をはじめ、中央区勝どきのマルシェや練馬区で開催された全国都市農業フェスティバルなど市外でのイベントを活用し所沢農産物のブランド化を推進した。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを					
			重要	自治事務		844千円	671千円						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			根拠法令			805千円	774千円						R5目標		R5実績	目標達成済			
			事業の目的及び具体的な内容			0.63人	0人						①20組 40名		20組(40名)	17組(34名)			
			期間	消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、所沢産農産物としてブランド化を推進するため、市内のみならず市外の消費者に向けてPRするとともに、販路拡大を支援していくものである。オリジナルデザインシールの作成及び配布、体験学習型所沢農産物PR事業の開催、市内外でのPR活動、長野県上田市との産業交流による所沢農産物PR		5,041千円	0人								20組(40名)	20組(40名)			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								20組(40名)				
			H31 ~			0.31人	0人								2,505千円				
534	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①WEB記事のPV数(台湾向け) ②台北国際旅行博でのアンケート回収数 ③現地旅行会社へのセールス(訪問回数)	X(旧Twitter)フォロワー数	SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook'いいね'とTwitterのフォロワー数を指標とする。	A	台北国際旅行博への出展、台湾現地旅行会社へのPRを行った。また、観光案内版の設置、外国人観光客受入体制を整備するとともに、都内観光案内所やホテル等でのパンフレット配架でのPR、外国人観光客のニーズを把握するため、アンケート調査を行った。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう					
			優先	自治事務		4,753千円	3,867千円						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			根拠法令			7,756千円	7,436千円						R5目標		R5実績	目標達成済			
			事業の目的及び具体的な内容			0.85人	0人						①307,564PV ②363人 ③20回		5,500人	11,900人			
			期間	新型コロナウイルス感染症の収束後に想定される観光需要の回復を捉え、本市のにぎわいを創出し、まちの魅力高めるため「ところざわサクラタウン」や「西武園ゆうえんち」等を目的に来日する外国人観光客及び市外からの来訪者を対象に、豊かな自然や歴史等の地域資源について情報発信するとともに、市内における外国人観光客の受入体制整備を行う。具体的な取り組み内容 ①台北国際旅行博への出展 ②WEB記事(台湾向け)の掲載 ③台湾現地旅行会社とのネットワークづくり ④観光案内板(狭山ヶ丘駅西口)の設置		6,802千円	0.08人								5,600人	13,098人			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								5,700人				
			H30 ~			1.27人									10,263千円				

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠													
534	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	トコロんの着ぐるみは年間を通して多くの貸出があり、市内外のイベント等に数多く出演することで所沢市のPRに貢献した。ロケーションサービスについては映画、ドラマ、CM、バラエティー番組等の撮影を市内で実施し、知名度の高い番組に登場したことで、全国に所沢市をPRすることができた。観光大使については、本市出身の北勝富士間が大相撲7月場所優勝争いに絡む活躍をしたほか、JAY'S GARDENが市民フェスティバルや12月議会の議場ライブに出演し、会場を盛り上げることができた。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も								
			重要	自治事務		5,243千円	4,676千円							①トコロん着ぐるみ貸出回数		観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。	新たな観光大使の選任に向けた検討を行った。	11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)							②ロケ実施回数									
			効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	事業の目的及び具体的な内容		6,099千円	4,418千円							③市主催観光大使出演回数						R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			期間			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							実績						7,200,000人	7,445,732人	目標達成済	
			H3 ~			0.93人	0.40人							①157回						R5目標	R5実績		
						7,442千円								②20回						7,500,000人	集計中		
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③2回	R6目標																		
		0.63人	0.40人		7,800,000人		評価者	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか														
		5,091千円					商業観光課長 古田 晃一	平成28年から観光大使が変わっていない。	市内外からの観光客増加により地域が活性化し、持続可能なまちづくりに貢献できる。														
541	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	人材確保に対する支援策の要望はあるものの、紹介事業者数の増加につなげられていないため。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も								
			重要	自治事務		152千円	121千円							①市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)		市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	市内中小企業の優れた技術・サービスをPRすることにより、市内事業者の人材確保に資することを目的とする。	将来の人材確保に結びつけていくために実施する「OPEN FACTORY TOKOROZAWA」について、就職を希望する高校生のみを対象としていたが、より多くの方に製造業を身近に感じてもらうため、対象を大学生から小学生までに拡大した。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)							②OPEN FACTORYへの参加企業数									
			産業人材確保推進事業	事業の目的及び具体的な内容		301千円	180千円							R4正規職員人件費						R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			期間			0.62人	0人							実績						50者	17者	市ホームページでの事業者紹介については、HPをはじめ、広報やDM発送で周知するとともに、企業訪問時にも制度の活用を案内するなどの活動を行ったが、申請数が伸び悩んだため、目標を達成できなかった。	
			H31 ~			4,961千円								①18者						R5目標	R5実績		
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							②9社						25者	18者		
		0.65人	0人		R6目標																		
		5,253千円			30者		評価者	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか														
							産業振興課長 奈良 和子	人材確保に対する支援策の要望は多いが、事業者紹介等への成果に結びついていない。そのため、引き続き事業者のニーズの把握に努める必要がある。事業者からは、掲載要件が厳しいとの意見もあることから、掲載要件の見直しを検討する。	次代の地域産業を担うひとづくりに貢献し、産業を支える基盤となる人材の確保に寄与した。														
541	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	戸別訪問等推進活動により、成果指標の目標を達成し、農業者年金の加入推進を果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、制度の周知を図り加入推進に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
			優先	自治事務		33千円	4千円							①加入推進戸別訪問		加入推進活動実施世帯数(世帯)	農業者年金を知らない農家のないよう、戸別訪問等による加入推進活動を実施した世帯数を目標指標とする。	農委だよりへの制度案内の掲載や、戸別訪問による加入意向確認を行った。加入の意向を示した農業者には電話により再度連絡して詳細を説明し加入を促した。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)							②新規加入者数									
			農業者年金基金法	事業の目的及び具体的な内容		40千円	10千円							R4正規職員人件費						R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			期間			0.30人	0人							実績						5世帯	12世帯	目標達成済	
			S45 ~			2,401千円								①2人						R5目標	R5実績		
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							②1人						5世帯	17世帯		
		0.28人	0人		R6目標																		
		2,263千円			5世帯		評価者	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか														
							農業委員会事務局次長 日高 義行	これまで実施している広報活動や戸別訪問を充実させ、農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し、より一層の周知と粘り強い加入推進活動を行う。	制度の周知や戸別訪問など、加入推進活動を実施した。														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠			
553	経営企画部	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	多文化共生に取り組む所属数を増やすため、研修や広報を行うことで、職員へ多文化共生への意識啓発を行っていく。	R5年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう				
			重要	自治事務		87千円	30千円								①研修及び講座参加者の多文化共生への理解度	多文化共生に取り組んでいる所属数	市全体で多文化共生に取り組むには、各所属で多文化共生を理解して取組みを進めていく必要があるため。	
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)											
				第6次所沢市総合計画前期基本計画		96千円	21千円								②多文化共生に取り組んでいる所属数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績	45所属	44所属	R5目標値が未達成の理由・分析
				日本人市民と外国人市民が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としての共生意識を育むことを目的とする。 ①多文化共生に関する研修や講座を実施する。 ②NGOやボランティアと連携し、外国人市民への支援を行う。		0.80人	0人											
			期間			6,402千円	0人								①100%	R5目標	R5実績	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。
			H31 ~			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合											
						0.55人	0人								②49所属	R6目標		
						4,445千円	0人									50所属		
561	市民部	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目的達成に向けてR4実績より件数は伸びており、ある程度成果は出ている。目標にはやや達成しなかった(95%)が、その要因は手続面の機能不全によるものであり、現在は回復している。以上のことからBが妥当と判断した。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			優先	自治事務		1,155千円	711千円								①まちなかコンサートの開催	【R5目標まで】市内の音楽コンテンツを推奨することで、本市を市内外にアピールしてイメージアップを図るため。	【R6目標から】「音楽のあるまちづくり」SNSのフォロワー数	【R6目標から】文化芸術に関する施策の満足度に相関性のある数値であると判断したため。
			根拠法令	文化芸術基本法		R5予算現額	R5決算額(見込み)											
				音楽のあるまちづくり推進事業		1,165千円	1,163千円								②音まちファミリーコンサートの開催	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績	30件	35件	R5目標値が未達成の理由・分析
				あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。 ①コンサートの開催：市民の気軽な音楽鑑賞の場を創出するため、市内各所で実施する。 ②音まちピアノ：グランエミオ所沢に設置のピアノの管理・運営。 ③「音まち」推奨制度：市内の音楽行事等を認定し、集客や情報入手の一助を図る。		0.95人	0.05人											
			期間			7,602千円	0.05人								①5回	R5目標	R5実績	年度当初は、対象となる音楽コンテンツの選定手続を外部団体が担っていたが、年度途中で諸事情により機能不全に陥った。12月から所沢市が直接申請を受け付ける方式に変更し、手続は正常に戻ったが、それまでの間の推奨数が伸びなかったため、目標値は未達成となった。
			H24 ~			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合											
						1.12人	0.1人								②2回	R6目標		
						9,051千円	0.1人									1,980件		
561	市民部	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	施設稼働率は目標値を下回ったが、開館30周年という節目にあたって充実した事業を実施し、自主事業における来場者数や入場料収入、施設貸与に伴う利用料金収入が過去最高となる等の実績が上げられたため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			重要	自治事務		746,542千円	733,781千円								①年間施設利用日数(日)	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く)	所沢市民文化センターは、本市における文化芸術活動の拠点であり、市民が芸術に触れる機会の増進を図り、施設利用者の増加を促進するために施設稼働率を指標とする。令和6年度は前年度実績値以上を目指すものとする。	
			根拠法令	所沢市民文化センター条例、所沢市民文化センター条例施行規則		R5予算現額	R5決算額(見込み)											
				市民文化センター管理運営事業		737,536千円	736,450千円								③自主事業イベント観客入場率(%)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績	51.5%	53.3%	R5目標値が未達成の理由・分析
				本市の文化芸術振興のため、所沢市民文化センターにおける事業運営と施設管理を行い、市民の芸術に触れ合う機会の増進と施設利用者の増加を促進する。 また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市文化振興事業団が実施している。 なお、平成30年12月から令和2年3月までは大規模改修を、令和2年4月から令和12年3月までは維持管理を、共にPFI事業者が実施している。		0.86人	0.05人											
			期間			6,882千円	0.05人								①3,418(全14施設)	R5目標	R5実績	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、稼働率は改善傾向にあるものの、完全には回復していない状況である。コロナ禍以前の実績に近い高い目標値を設定したことが未達成の一因と考えられる。
			H5 ~			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合											
						0.93人	0.09人								②7,718(全14施設)	R6目標		
						7,515千円	0.09人								③82.7%	57.0%		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	実績値は目標を下回っているが、「埋文まつり」アンケートでは、参加者の9割以上が「昔の人々の暮らしの跡や使っていた土器などを大切にしたいと思う」と回答しており、事業を通じて関心や理解が図られているためB評価とした。地中に眠る埋蔵文化財の魅力伝えるため、学校と連携した情報発信を進め、子どもから高齢者まで多くの市民が埋蔵文化財に親しむ機会の創出に引き続き努めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに						
			重要	自治事務		1,988千円	1,106千円	①来館者人数 ②埋文まつりの参加者数 ③出張事業・講師派遣等の参加者数	文化財公開活用事業への参加者数	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに						
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費								R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			文化財保護法・所沢市文化財保護条例	2,034千円		1,654千円													R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合
			事業の目的及び具体的な内容	0.39人		0.5人	実績	8,600人	3,937人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。			R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに					
			埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土の歴史や文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①小中学校を対象とした来館授業・出張授業・職場体験学習等 ②施設見学・講師派遣 ③埋文まつり等の体験型イベント ④最新発掘展示 ⑤外部公共施設等への資料貸出等	3,121千円		0.5人	①3,672人	R5目標	R5実績							R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			期間	0.39人		1.8人	②449人	8,600人	4,396人										R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
			H6 ~	3,152千円		1.8人	③275人	8,600人					評価者	文化財保護課長 稲田 里織	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。			
			562	教育総務部		文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額			R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	当初の計画通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかしながら、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるように、その下地となる遺物の整理を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
							重要	自治事務		12,740千円			7,915千円	①整理作業遺跡件数 ②整理作業遺構件数 ③出土遺物の保存処理・化学分析	発掘調査報告書刊行調査回数	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)			R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析		R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに									
文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	13,047千円	11,464千円										R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							
事業の目的及び具体的な内容	0.21人	6人			実績		380件	383件		目標達成済	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに							
遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくことを目的に実施する。主な内容は、①遺物の水洗 ②注記 ③接合 ④復元 ⑤着色 ⑥報告書掲載遺物の選出 ⑦実測 ⑧拓本 ⑨保存処理 ⑩科学分析 など	1,680千円	6人			①14件		R5目標	R5実績						R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
期間	0.21人	3.4人			②37件		387件	389件											R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
S50 ~	1,697千円	3.4人			③7点		398件				評価者	文化財保護課長 稲田 里織	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。					
562	教育総務部	文化財保護課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	令和4年度で史跡整備に伴う発掘調査は終了したため、調査に伴う現地説明会の開催がなく、目標値を達成できなかった。令和6年度以降は、「現地説明会参加者数」を「普及事業参加者数」に変更し、講演会や出土遺物展示などを通じて、「滝の城跡」と発掘調査成果を市民に伝える活動に努めるとともに、史跡整備を進めていく。			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
					重要		自治事務			4,567千円	4,539千円	①滝の城跡HPアクセス件数+現地説明会参加者数 ②発掘調査報告書の延べ販売部数	保存会会員数+現地見学者数(団体見学ののみ)+現地説明会参加者数	R5目標値が未達成の理由・分析					R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに									
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	3,955千円	972千円												R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		
			事業の目的及び具体的な内容	0.42人	0人	実績	250人		145人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに							
			中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ譲り伝えることを目的に実施する。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所の応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	3,361千円	0人	①8,998件	R5目標		R5実績					R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			期間	0.52人	0人	②41冊	145人		81人										R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点
			H19 ~	4,202千円	0人		220人				評価者	文化財保護課長 稲田 里織	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか			豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。			

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	当初計画していた面積以上の調査が実施でき、目標を達成している。今後も開発に遅れがでないよう、土地区画整理組合から依頼のあった調査を着実に進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに							
			重要	自治事務		27,391千円	8,528千円	①確認調査実施件数 ②発掘調査実施件数(m) ③確認調査実施面積	確認調査(試掘)面積と記録保存のための発掘調査面積	各土地区画整理組合(組合が認可されていない箇所は土地区画整理組合設立準備会)と合意した確認調査(試掘)、及び記録保存のための発掘調査面積			R5年度に改善した点		11 住み続けられるまちづくりを						
			根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)						14,283千円			7,841千円	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.72人						11人			R4実績	26,000㎡	11,688㎡	どのよう貢献したか		
			期間	H29 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.56人	7.2人	実績			26,000㎡		28,705㎡	専門職員が少ない中で、市内遺跡調査と並行して土地区画整理事業の進捗に影響を及ぼさないよう、調整を進めることが困難になっている。	開発により現地保存できない遺跡の発掘調査を実施することにより、地中に遺された所沢市の歴史を後世に記録として伝えていく。				
								4,525千円									文化財保護課長 稲田 里織				
			562	教育総務部		文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額			R4決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目標値は達成しているが、整備活用に向けた課題は残っており、B評価とした。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
							最優先	自治事務		7,800千円			6,995千円		①特別公開の参加数 ②アンケートの回答数 ③公開事業の達成度(アンケートの所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたいと「とても思った」回答数の割合)	R4まで歴史的建造物整備活用事業(秋田家住宅)への関心度(アンケート回答数の割合) R5から公開事業の達成度(アンケートの「所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたい」と思っていたら、事業目的を遂行できるため指標とした。	「秋田家住宅」の整備活用を通じて、「所沢のまちば」の歴史・文化を伝えることを目的としており、公開事業の来場者に「所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたい」と思っていたら、事業目的を遂行できるため指標とした。			R5年度に改善した点	
根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R5予算現額			R5決算額(見込み)		26,168千円	24,380千円		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合			1.58人		0.1人	実績		45.0%	77.3%	どのよう貢献したか									
期間	R3 ~	R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		0.95人	0人		①757人 ②464枚 ③98.6%	R5目標	R5実績	歴史的建造物の整備を図っていくにあたり、建築基準法や消防法など法令対応の検討を行う必要がある。	織物産業で栄えた所沢まちばの賑わいや昔の生活を伝え、「ふるさと所沢」への愛着と理解を深める。							
							7,677千円							文化財保護課長 稲田里織							
563	教育総務部	文化財保護課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	講演会を2回開催するなど普及事業に努めたことにより、目標が達成できている。令和6年5月には「三ヶ島葎子資料室」開設30周年を迎えるため、この機を捉えて、より多くの市民に「三ヶ島葎子」に親しんでもらえるよう、三ヶ島公民館とも連携して事業手法や情報発信をさらに充実していく。	R5年度に改善した点			4 質の高い教育をみんなに	
					重要		自治事務			163千円	112千円	①資料室入場者数 ②講演会等来場者数 ③冊子等販売数	利用者数(資料室・講演会来場者数と冊子等購入者延べ人数)	市民へ三ヶ島葎子を周知することを目的としているため、利用者数(資料室・講演会等来場者数と冊子等購入者延べ人数)を指標とした。			R5年度に改善した点				
			根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法	R5予算現額	R5決算額(見込み)	152千円		152千円	R4目標	R4実績						R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.30人	0.2人		実績	600人	559人						どのよう貢献したか				
			期間	H6 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.53人		0.1人	①585人 ②95人 ③86冊	R5目標	R5実績	令和6年度は、「三ヶ島葎子資料室」開設30周年記念事業として、①令和の百首選の発表 ②「三ヶ島葎子資料室」一部展示替えなどを行い、より多くの人に「三ヶ島葎子」の魅力が伝えられるよう情報発信に努めていく。	三ヶ島葎子資料室の運営により、郷土の歌人・三ヶ島葎子をはじめとした文学についての学習機会を市民等に提供している。							
							4,283千円							文化財保護課長 稲田里織							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠			
563	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①事業目的の達成度(アンケート「ふるさと所沢」について「学びたい・知りたい」と回答した割合) ②ふるさと研究利用者数 ③事業に協力した市民学芸員の延べ人数	展示見学者・講座参加者・閲覧学習室利用者の延べ人数	ふるさと研究活動の周知と市民参加が目的の一つであるため、ふるさと研究利用者数(事業参加数と資料利用数)を指標とした。	B	目標値には達しなかったが86.9%と高い達成率であり、5年ぶりの「ところざわ星空フェスティバル」を開催し、講座等の事業についても参加人数や会場など、コロナ前にそのまま戻すのではなく、現状に合った形態を検討し、実施することができた。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		14,946千円	14,510千円						R5予算現額	R5決算額(見込み)	R5目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	社会教育法、博物館法、文化財保護法		13,573千円	13,235千円						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		2.11人	3人						実績	6,100人	4,534人	令和4年度よりも利用者数は増加しているが、目標値は達成していない。より多くの市民へ事業開催の情報が届くように、情報発信の工夫に努める。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市の歴史や自然などの本市に関する様々な分野の資料の収集・保存・調査・研究を進め、常設展示や企画展示・講座・体験学習会などを通じて研究成果を紹介し、郷土への愛着を深めるための事業を展開する。		16,884千円	3人						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標		R5実績	所蔵する郷土資料を良好な環境で保存できるよう資料の整理や施設整備について検討していくことが必要であり、まずは、郷土資料を良好な環境で一元管理するために必要となる資料管理のデジタル化について、次年度から取り組んでいきたい。また、「ふるさと所沢」に関する展示、自ら学んでみたいと思う市民を増やせるよう、充実した普及事業に努めていく。
			期間			1.53人	2.9人						①60% ②5,344人 ③664人	R6目標			どのよう貢献したか	
			H7 ~			12,364千円								6,200人			展示・講座等の開催によって、市民に「ふるさと所沢」についての学習機会を提供している。	